
 学校法人 丸の内学園
名古屋福祉専門学校
【専門課程 介護福祉学科】

令和 5 年度
学校関係者評価報告書

令和 6 年 6 月 1 日

 学校法人 丸の内学園
名古屋福祉専門学校

この「学校関係者評価報告書」は、学校法人丸の内学園 名古屋福祉専門学校【専門課程 介護福祉学科】の令和5年度の自己評価結果に基づき、学校関係者評価委員が行った評価について記したものである。

令和6年6月1日

学校関係者評価委員統括責任者

富田 和重

「学校関係者評価報告書」の概要

1. 報告書公開日 / 令和6年6月1日
2. 評価対象期間 / 令和5年4月1日～令和6年3月31日
3. 学校関係者評価の基本方針

公認会計士、卒業生により、学校関係者評価委員会を構成し、教育理念・目標、学校運営、教育活動、学生指導、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守、社会貢献・地域貢献等を主とした評価項目において行った自己評価結果を踏まえた今後の課題と改善策が適切であるか等、自己評価結果の客観性・透明性を高め、その評価結果や今後の改善策等についてとりまとめ、広く公表する。

学校は、その評価結果を改善方策の検討において活用し、次年度の重点目標の設定や学校運営、教育活動等について具体的に改善を図ることで財務基盤の安定、教育水準の向上に努めることを目的とする。

なお、学校関係者評価委員会の定数は3名とし、任期は原則3年とする。

4. 学校関係者評価委員会

	氏名	所属
委員	楯 泰治	公認会計士楯泰治事務所
委員	西脇 良子	名古屋福祉専門学校 卒業生
委員	中村 昌代	名古屋福祉専門学校 卒業生

※学校関係者評価委員統括責任者 / 富田 和重

(敬称略・順不同)

5. 学校関係者評価委員会の実施状況

日 時 / 令和6年5月27日(月) 18時00分～19時00分
場 所 / 名古屋福祉専門学校 応接室

6. 公開方法

公開方法	公開範囲	公開場所
書面の閲覧による公開	全部	学校法人丸の内学園 名古屋福祉専門学校 事務局 住所/名古屋市中区丸の内1丁目3番25号
ホームページでの公開	要約	学校法人丸の内学園 ホームページ https://marunouchi-gakuen.ac.jp/information/

1. 自己評価結果に基づく学校関係者の評価

(1) 教育理念・目標

	【自己評価】 評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
2	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 ③ 2 1
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界の ニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

- ・ 評価項目の自己評価については、適切に評価が行われていると思います。
- ・ 教育理念や教育目標は、教職員・学生・保護者全員が共有しているのはもちろんのこと、広く学外に対しての周知も期待します。
- ・ 実習契約施設との関係において、実習生の現況や教育状況の達成度をより詳しく、実習施設の指導担当者と情報共有することにより、実習施設として学生を指導するうえで、参考になり、少しでも実習施設の受け入れ環境が整えられると考えられるため、より一層の連携強化を期待します。

(2) 学校運営

	【自己評価】 評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
2	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
3	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	④ 3 2 1
4	人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
5	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が 整備されているか	4 ③ 2 1
7	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

- ・ 評価項目の自己評価については、適切に評価が行われていると思います。
- ・ 学校法人として各種規程は適切に整備されていると思います。引き続き、各種規程に則った健全な学校運営が行われることを望みます。

(3) 教育活動

	【 自 己 評 価 】 評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
5	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
8	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
9	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
10	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
11	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 ② 1
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

- ・ 評価項目の自己評価については、適切に評価が行われていると思います。
- ・ 施設との連携においては、実習施設の追加など、より幅広く実習受け入れ先の確保と実習内容の充実のために、連携強化に一定の成果が出てきています。

- ・ 改正カリキュラムの定着のため、成績評価、単位認定基準の再検討、再統一を行い、学科を担当する全教員が集まる会議を開いたり、詳細に説明することで、全教員における成績評価、単位認定に係る基準、資格取得の指導体制の意識の統一化、指導方法の共有化を図ることができたと評価できます。
- ・ 今後も引き続き教育の質の向上を目指して取り組んでいただきたいと思います。

(4) 学修成果

	【自己評価】 評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
2	資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
3	退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

- ・ 評価項目の自己評価については、適切に評価が行われていると思います。
- ・ 引き続き資格取得率の向上と退学者ゼロに向けた取り組みを強化していただきたいと思います。
- ・ 卒業生へのアンケートを実施して、現住所の把握や現在の仕事の状況などに努めておられます。今後も適宜アンケートを実施して、卒業生の動向を調査し、卒業後のキャリア支援につなげていただきたいと思います。

(5) 学生支援

	【自己評価】 評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
6	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
7	保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
8	卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

- ・ 評価項目の自己評価については、適切に評価が行われていると思います。
- ・ 引き続き学生に寄り添った支援を行っていただくとともに、卒業生に対しても支援の強化をお願いします。
- ・ 学び直しを考えている社会人が求めているニーズをより多くリサーチし、ニーズに即した講座などができるように積極的な情報発信をしていくことをお願いします。

(6) 教育環境

	【自己評価】 評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
3	防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

- ・ 評価項目の自己評価については、適切に評価が行われていると思います。
- ・ 引き続き、実習施設との連携強化や、教育環境の整備に努めていただきたい。
- ・ 学生ロッカーの劣化に伴う、使い勝手や見た目の低下、照明設備の経年劣化による光度不足など、さらなる教育環境の向上に努めてください。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策については、第5類へ移行後も、万全を期していただきたい。
- ・ 施設・設備の経年劣化は免れないので、安全上の観点からも、引き続き、いち早く異常や変化に気付き、補修や入替など適切な措置をとるようお願いします。
- ・ 防災については、常にいつ起きてもおかしくないという「危機管理意識」をしっかりと日ごろから持てるような教育をお願いしたい。また、防災に関わる備蓄品を日ごろから準備しておくよう、検討してください。

(7) 学生の受入れ募集

	【自己評価】 評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
3	学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

- ・ 評価項目の自己評価については、適切に評価が行われていると思います。
- ・ 少子化が続く中、どの学校も学生募集は厳しい状況になっているようですが、引き続き適正な募集活動を行っていただきたい。

(8) 財務

	【自己評価】 評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
3	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
4	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

- ・ 評価項目の自己評価については、適切に評価が行われていると思います。
- ・ 少子化が続く中、今後、財務上の課題を抱える専門学校がますます増加すると思われるため、更なる財務基盤の強化、時代を捉えた社会に貢献し得る人材の育成に力を注いでいきたいと思っています。

(9) 法令等の遵守

	【自己評価】 評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
3	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
4	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

- ・ 評価項目の自己評価については、適切に評価が行われていると思います。
- ・ 引き続き、学校法人として法令遵守に努めるだけでなく、教職員一人ひとりが高い規範意識のもと、教育活動を行っていただきたい。

(10) 社会貢献・地域貢献

【自己評価】 評価項目		適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

- ・ 評価項目の自己評価については、適切に評価が行われていると思います。
- ・ 地域の植栽維持管理や道路清掃活動などの取り組みは、環境美化だけでなく生徒の情操教育にも役立っていると思われる。
- ・ 新型コロナウイルス感染症予防の観点から第5類移行後も、施設では変わりなく感染対策を厳しく行っているため、ボランティアの受付制限が引き続き行われています。施設によっては手探りの中、ボランティアを活用しようとする動きもあるため、できることからボランティア活動の支援や地域との連携・協力を行ってください。

2. 総評

学校関係者評価を通して、学校運営を教育・財務・経営・法令遵守・社会貢献など様々な視点から検証ならびに評価することができた。

自己評価並びに学校関係者評価結果を真摯に受け止め、改善を図ることが求められる事項について整理するとともに、全教職員で認識を共有し、今後の学園の運営を充実・強化していくための指針としていただきたい。